

## 1. フォーラム委員提案を踏まえた取組

## 1 ライブペインティング

時期：平成30年度

内容：市内施設の工事仮囲いをキャンバスにして、障害の有無に関わらず、地域の子どもたちをアーティストが指導しながら、絵画を描くことにより、誰もが文化芸術活動に親しめる環境づくりへとつなげていく。



ライブペインティング  
イメージ

## 2 飲食店等におけるパラムーブメントロゴの活用

## (1) 背景

ア ステートメント入りロゴの策定

イ リーディング事業の展開

(ア) 宿泊施設等バリアフリー化促進プロジェクト

(イ) アクセシブルシティかわさきプロジェクト

(ウ) かわさきパラムーブメント推進フォーラム（8月4日）での委員意見

## (2) 目的

かわさきパラムーブメントロゴマークのステートメントでは、「未来を変えていく力は私たちの中にある」と表明しており、それを実践するための一つの手法として、**飲食店をはじめ、商店、ホテルや事業者の店舗（銀行の支店など）に対し、パラムーブメントの理解を促し、障害者をはじめとする利用者に対して、ハード面のバリアがあったとしても、従業員の気遣いやおもてなし等、心のバリアフリーにより対応できることを表明してもらうため、パラムーブメントのステッカーを店舗に表示してもらい、飲食店等の利用者のパラムーブメントに対する理解も併せて深めていく。**

これにより、**事業者及びその利用者が「めざせ!やさしさ日本代表!」を担うチームの一員であることを理解していただくとともに、障害のある人などが生き生きと暮らせるまちづくり、障害者をはじめとする誰もが安全で安心に暮らせるまちづくりを目指す。**

## (3) 事業展開

ア 展開の方向性

ステッカーを市内の飲食店、商店、ホテルなどの店頭に掲示することにより、店舗側に対し、**パラムーブメントを知ってもらうとともに、障害者をはじめとする高齢者や子どもなど様々な利用者に対し、ハード面又はソフト面での“やさしさ”のある接遇を実践していることを表明してもらう。**

また、店舗を利用する側にも、**パラムーブメントを知るきっかけにしてもらうとともに、実際に“やさしさ”のある接遇を受けることで、そのお店の良さやパラムーブメントの取組を実感してもらい、友人・知人に広く伝えてもらう。**

加えて、ステッカーを掲示した店舗等には、子どもたちが危険に遭遇したり、困りごとがあるとき安心して立ち寄れる「子ども110番の家」のように、障害者だけでなく、高齢者や子どもなどの安全を確保する拠点としての機能を付加していく。

なお、外国人の言語問題やハラル対応などについてもステッカーを工夫することで対応する。

## イ 展開方法

パラムーブメントステッカーを作成し、市内の飲食店、商店、ホテルなどに展開し、さらに、金融機関やタクシー等への展開も視野に入れる。

(ア) ステッカー掲示を店舗に依頼する際は、「かわさきパラムーブメントの説明」及び「心のバリアフリー接遇マニュアルによる接客・配慮のポイントの説明（今後作成予定）」を行い、希望店舗にはPR用動画も配布し、放映を依頼する。

(イ) ステッカー掲示の対象店舗は、飲食店、商店、ホテル、金融機関等のうち、次のいずれかに該当し、趣旨に賛同してくれる店舗とする。

★ハード面においてバリアフリー対応している（店舗入り口などに段差がないなど）

★ソフト面において接遇の配慮を心掛けている（障害者、外国人（言語含む）、高齢者、ベビーカー利用者、ハラル対応など）

(ウ) 掲示店舗数が一定程度又は掲示開始後、一定期間経過した時点で、パラムーブメントフェア、パラムーブメントグルメのようなイベント開催も検討。

## ウ 今後の予定

飲食店、商店、ホテル、金融機関その他事業者団体等を通じ、展開していく。

## (4) ステッカーイメージ（デザインは今後調整）

## ロゴベース



## ステートメント入りベース



### 3 (仮称) パラアート・プラットフォームの検討状況

#### 1 現状と課題

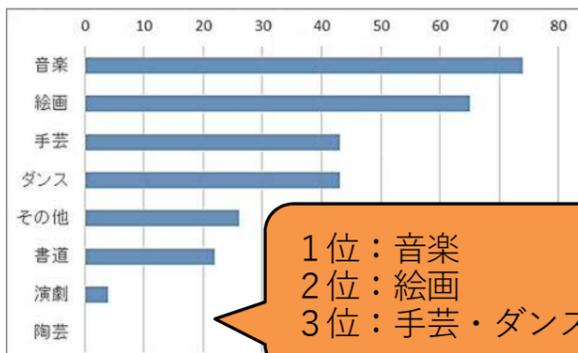
##### (1) 市内活動団体の把握 平成 29 年 5 月現在

- かわさき市民活動センターポータルサイト ～応援ナビかわさき～ 登録団体数 710 団体
- このうち、活動分野を「障害者・児」に登録している団体は 179 団体
- さらに、活動分野を「障害者・児」と「文化芸術」の両方に登録している団体は 43 団体

##### (2) アンケート調査の実施

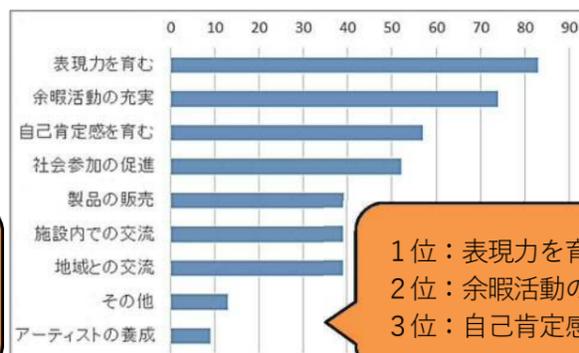
- 調査対象：市内障害者入所・通所施設 189 事業所 (107 法人)
- 回答数：32 事業所 (回答率 16.9%)
- 調査期間：平成 29 年 5 月 26 日～6 月 16 日

##### ■ 活動種類



1位：音楽  
2位：絵画  
3位：手芸・ダンス

##### ■ 活動目的



1位：表現力を育む  
2位：余暇活動の充実  
3位：自己肯定感を育む

##### ■ 主な課題

1	文化芸術の専門知識や技術の不足	57%
2	施設職員の不足	52%
3	他団体とのつながりの不足	30%
4	活動資金の不足	26%

- ◎文化芸術の専門知識が十分でない福祉施設職員が、通常業務の片手間で活動を続けている状況
- ◎専門的なサポートへのニーズが高く、実施することでパラアートが大きく進展するポテンシャルがある。
- ◎文化芸術の力を活用した福祉施設間のつながりや市民活動団体等とのネットワーク化

#### 2 取組の方向性

【方向性】全市のパラアート活動への支援と協力の基盤として、パラアート・プラットフォームを構築する

##### (1) パラアートに精通した専門的な中間支援組織による支援

- ・文化芸術の専門機関（文化財団等）にパラアート・プラットフォームを運営する事務局を設置する。
- ・文化専門職員を配置し、専門アドバイス、人材育成、公募事業など、効果的な中間支援を実施する。

##### (2) 関係団体・機関のネットワークの構築

- ・パラアートに取り組む施設や学校の情報交換、相互協力ネットワークを構築する。

#### 3 平成 29 年度の具体的な展開

##### ●モデル事業等を通じた「パラアート・プラットフォーム」の準備

##### (1) パラアート推進モデル事業

- ・(公財)川崎市文化財団が業務委託を受託
- ・ワークショップ、作品展示、公演等を実施し、パラアートの環境整備に向けた課題等を整理

##### 【実演芸術部門】

事業名	協力団体名
ろう学校でのワークショップ&公演	デフ・パペットシアター・ひとみ

##### 【美術作品展示部門】

事業名	協力団体名
FLAT展 かわさき アートが人をつなぐ	studio FLAT、中央支援学校、田島支援学校ほか

##### 【実演音楽芸術部門】

事業名	協力団体名
みんなの・みんなでコンサート (仮称)	公益財団法人東京交響楽団

##### 【公募型事業】

- ・障害のある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業の発掘などを目的
- ・1事業20万円以内で3事業程度を募集 《結果》6団体が応募し、4事業を採択

事業名	団体名
インクルーシブダンスプロジェクト We Ballet	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団
アートを通じたワークショップ	THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊
パラアート地域交流サロン	一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク
宮前区障がい児の為に夢を叶えるチャレンジ教室&同開催の為に実践講座	一般社団法人 canawell (カナウェル)

##### (2) 障害とアートに関するシンポジウム

- ・パラアートの現状や可能性、課題について障害者や文化に関する施設・団体関係者、市民と共有アートを通じて考えるインクルージョン 基調講演：田園調布学園大学 鈴木文治教授  
平成 29 年 1 月 27 日 (月) 開催

##### (3) (仮称) パラアート・プラットフォームに向けたサロンの交流

- ・障害者や文化芸術施設・団体、学校関係者等が交流し情報交換やパラアート推進に向けた意見交換の場づくり  
→年明けから年度末の開催に向け計画

#### 4 スケジュール

平成 30 (2018) ~33 (2021) 年度

- ・(仮称) パラアート・プラットフォーム設置に向けた取組
- ・(仮称) パラアート公演・展覧会開催に向けた取組 (詳細は 5 ページ参照)
- ・beyond2020 プログラム認証の推進



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

# 今後の主な取組について

## II. リーディングプロジェクトの取組

### 1 アクセシブルシティかわさき

平成29年度は、(株)ぐるなびとともに、市内飲食店20店舗のバリアフリー状況調査を行い、各店舗の詳細なバリアフリー情報をぐるなびホームページを通じて発信した。今後は、飲食店等におけるパラムーブメントロゴの活用等を踏まえて、事業内容を検討する。

### 2 パラスポーツやってみるキャラバン

平成29年度から新たに私立小学校での実施を開始し、平成30年度からは、さらに公立特別支援学校での実施を予定

### 3 インクルーシブなカワサキハロウィン開催に向けた支援

平成30年度も引き続き、車いす利用者その他障害者のハロウィン・パレード／キッズ・パレードへの参加を支援する。  
※平成29年度実績：キッズパレードは9名参加。ハロウィンパレードは28名が参加予定だったが雨天中止となり、うち8名が代替イベントに参加した。

### 4 宿泊施設等バリアフリー化促進プロジェクト

平成29年度に市内宿泊施設に対し、バリアフリー化に関するコンサルティングのモデル事業を実施したほか、従業員向けバリアフリー研修会を開催し、今後も宿泊施設側のニーズに応じて研修会等を実施する。また、市内有数の観光地である生田緑地のバリアフリーマップを29年度中に作成し、多様な観光客を誘致するため活用するとともに、川崎駅・武蔵小杉駅周辺のバリアフリー状況調査で得られた情報を他の観光情報とともに活用するための方策を検討していく。



昨年度のやってみるキャラバンの様子

## III. かわさきパラムーブメントの総合的な推進体制（市民活動）の構築

※次ページ参照

時期：平成29年度中に開始

### 内容：① 市民等へのヒアリングの実施

地域で活動中の市民その他団体を中心に、各自の活動内容やこれからやってみたいこと、把握している地域資源などをヒアリング

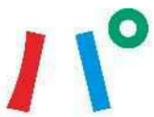
### ② シンポジウム及びワークショップの開催

上記ヒアリング対象者、障害者その他関心のある方を対象に、シンポジウム及びワークショップを開催

- ・シンポジウムテーマ：(仮) オリンピック・パラリンピックと市民活動等に関する内容
- ・ワークショップテーマ：(仮) かわさきパラムーブメントと川崎の未来を考える



昨年度のシンポジウムの様子



めざせ！やさしさ日本代表！  
かわさきパラムーブメント

# かわさきパラムーブメントの総合的な推進体制（市民活動の場）の構築

## 市民活動(名称検討中)

- 2020年の夏をターゲットとした誰でも参加可能な市民活動の場
- 特定の会議体ではなく、出入り自由なプロジェクトチーム形式を想定
- 市民へのヒアリング、公募、イベント等を通し、複数年度にかけて活動の輪を広げていく。

意見・情報交換

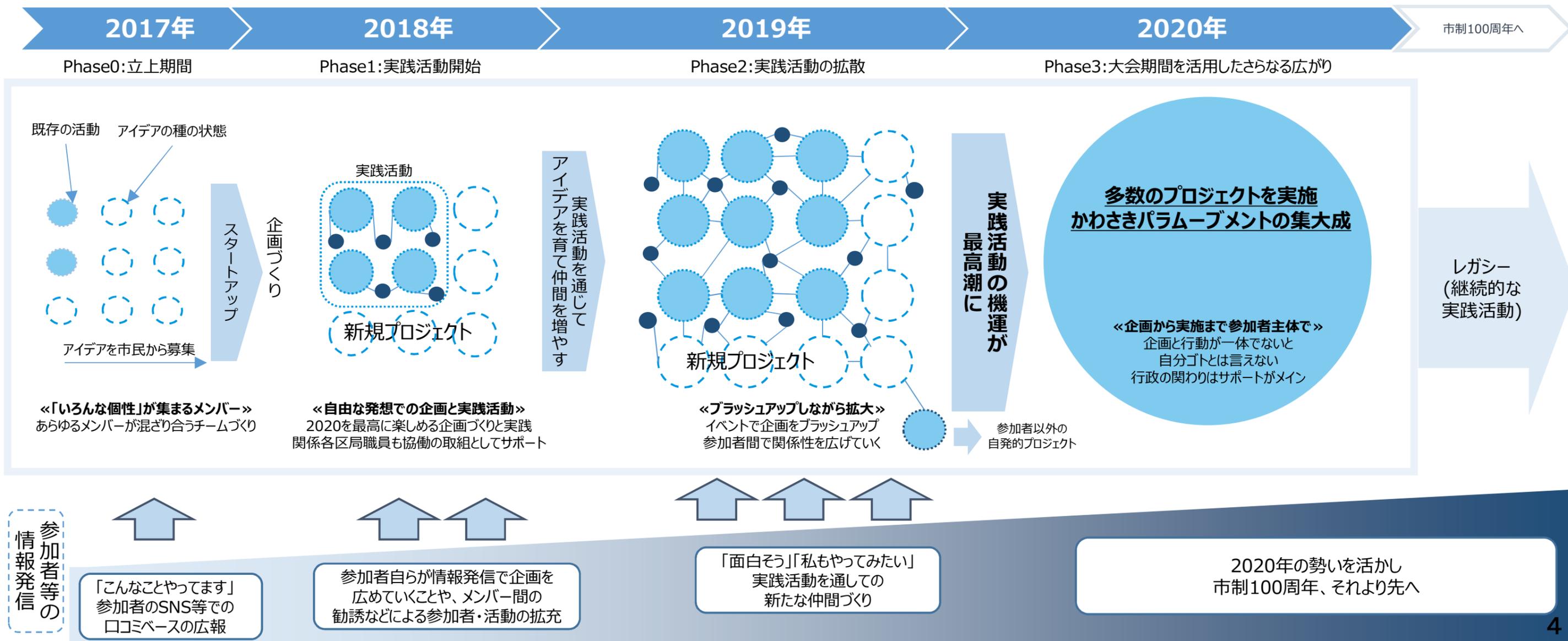
## 推進フォーラム

有識者会議として位置付け、「市長への助言」「推進ビジョンの策定・進捗管理への意見」「既存事業への支援、参加」などを担う。

### <ポイント>

- 東京2020大会という好機に、「いろんな個性」が集まる「みんなの違いを活かせるチーム」が、「やりたいこと×かわさきパラムーブメント」をコンセプトにプロジェクトを展開していく。
- 「やりたいこと×英国代表チーム事前キャンプ」の取組も推奨していく。
- 多様な主体がまじりあいイノベーションを起こしていく場、プロセス自体もパラムーブメントと捉える。また、積極的な情報発信により、パラムーブメントのプロモーションの場ともしていく。
- 2020年を過ぎても持続可能な活動（レガシー）としていくため、活動資金等は原則として既存スキームを活用。（各種助成金、市民ファンド、クラウドファンディング等）
- ただし、活動を動かし始めるために必要最小限の資金（例：資器材等の購入費用）や、この場全体に関係するプロジェクトに要する資金に対しては他の類似事例を参考に検討する。

### <取組イメージ>





めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

# 今後の主な取組について

## IV. かわさきパラムーブメントのプロモーション

### ●障害者スポーツ体験

#### 1 かわさきP A R A フェス

・平成29年8月に、ラゾーナ川崎で行ったイベントと同様のものを2020年まで毎年開催する。

※29年度実績

来場者数：2万人

内容：ポッチャ、車いすバスケ、パラ陸上などの障害者スポーツ体験及びステージ演目（トークライブ、音楽、ダンス等）

・市内全域で様々な方に障害者スポーツに触れる機会を設けるため、上記イベントに加え、**市内北部及び中部地域でもミニイベントを別途開催**することを検討する。

また、川崎を拠点に活躍しているトップチーム「**かわさきスポーツパートナー**」と連携し、**そのファンや市民等を対象としたイベント内で、障害者スポーツの体験イベントなどを同時開催**することも検討する。



P A R A フェスの様子

#### 2 障害者スポーツデー・誰でもスポーツ広場

・平成29年度から身近な施設である市内各区のスポーツセンターを拠点として、障害者や介助者等に障害者スポーツを楽しんでもらう「**障害者スポーツデー**」を実施している。  
平成30年度は、各施設の実施回数を年1回から年2回に増やす予定

・障害の有無に関わらず、市民に様々な障害者スポーツを体験してもらうため、平成29年度に引き続き、富士通スタジアム川崎を会場として「**誰でもスポーツ広場**」を開催する。



障害者スポーツデーの様子

### ●音楽・芸術関係

#### 1 音楽イベント

・平成30年度に、市内音楽ホールにて、音楽イベントを開催することを検討する。

・ステージでは、障害者・プロ・アマチュア等からなるオリジナル編成のオーケストラ・合唱の演奏、歴代オリ・パラの名場面を上映。

・ホワイエやエントランスでは、五感の働きを利用せずに、障害者と健常者がより近い体験を楽しみながら理解出来る「**補助感覚体験ブース**」の設置などを行う。



音楽イベントイメージ

#### 2 (仮称) パラアート展覧会

・平成30年度に、市内の障害者アーティストや展覧会入賞者の作品のほか、市内特別支援学校の児童・生徒及び障害者事業所利用者による作品の制作・展示を行い、障害の有無によって分け隔てることなく、それぞれの芸術活動を支援する。

・また、2020年の障害者による芸術祭の開催に向けて、学校や施設での作品制作において、本人らしさを尊重しながら、アーティストの指導を適宜受けることにより、アーティストの卵の発掘につなげていく。



美術展示会イメージ

## V. 広報（グッズを活用したプロモーション）

時期：平成30年度

内容：かわさきパラムーブメントの考え方・理念を市民一人ひとりが理解し、“自分ゴト”として捉えて行動してもらうことを目指すため、パラムーブメント関連グッズを制作し、パラムーブメントの理念に賛同する方々に購入してもらうことで、気軽にパラムーブメントを応援する環境を整えるとともに、その他の市民にもパラムーブメントを広めていく手段とする。販売収入は、パラムーブメント関連事業への特定財源とする。

#### 1 販売方法

- ・市内施設（J R川崎駅北口行政サービス施設等を検討）での常設販売
- ・イベントなどでの売店ブースによる販売

#### 2 販売グッズ（例）

ネックストラップ、ピンバッジ、ステッカー、ハンドタオルなど



ネックストラップ



ピンバッジ イメージ



ハンドタオル イメージ